

知多半島圏域地域医療連携検討ワーキンググループについて

○設置目的

地域における医療機関相互の連携、機能分担（入院医療における病院間連携の推進や、外来救急における時間外診療の定点化の推進など）について検討する。

○所掌事務

- ・地域における救急医療体制、周産期医療体制の確保等について検討する。
- ・地域の病院間で設置された協議会における協議状況の報告を受け、その内容が地域医療の確保につながるものであるかを検討する。
- ・上記の検討状況を愛知県が設置する「地域医療連携のための有識者会議」に報告するとともに、地域の医療連携に基づく医師派遣の必要性について、有識者会議に検討を依頼する。

○組織・構成員等

2次医療圏を単位として組織する。

構成員：地域の医師会長、歯科医師会長、薬剤師会長、救急医療対応医療機関の長、
周産期母子医療センター、地域の産科医及び小児科医の代表、
自治体消防本部長、保健所長
必要に応じ、作業部会を設置する。

○第1回ワーキンググループ開催予定

開催日	内 容
平成23年8月30日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療再生計画について ・救急医療及び周産期医療に係る実態調査結果について ・ポスト急性期患者受入可能病院調査結果について ・病院間連携状況について ・外来救急における時間外診療の定点化の推進について ・知多半島医療圏における救急医療体制等の課題と対応方針の前年度報告等について

○今後のスケジュール

- ・作業部会（9月開催予定）
救急医療、周産期医療に関する患者動向などの実態調査結果を基に、救急医療体制、周産期医療体制の問題点について検討。
- ・第2回ワーキンググループ（平成23年12月開催予定）
作業部会における検討状況を報告